



# 一人ひとりの夢・思いを大切に しなふくニュース

編集人 市原 勝祐 発行人 市原 勝祐  
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1  
電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail [info@shinafuku.org](mailto:info@shinafuku.org)



理事長  
いちはら かつすけ  
市原 勝祐

明けましておめでと  
うございます。  
昨年は特に大きな問  
題もなく比較的穏やか  
な中で業務を運営する  
ことができて、各担当も  
それぞれ課題に取り  
組んで参りました。  
一方、戦後の混乱期  
に急増した生活困難者  
への対応として措置制  
度と時を同じくして設  
立された社会福祉法人  
は、その後六十余年の  
間日本の福祉制度の一  
端を担ってきています。  
しかし、福祉を取り巻  
く環境も少子高齢化等  
激変し、福祉の基礎構  
造も改革され、社会福  
祉法人に社会の厳しい  
目が向けられるように

なりました。まず、介  
護保険制度により措置  
から契約に転換し、事  
業の担い手に一般企業  
が参入し、税・補助金  
等法人への優遇措置に  
対する不公平感と同時  
に法人経営の透明性が  
指摘されるようになり  
ました。また、引きこ  
もり、低所得者等現代  
社会の中で新たに発生  
した制度の狭間の生活  
困難者の福祉問題に対  
し、福祉事業者として  
の法人が持てる力と自  
己の資金で社会貢献を  
行うべきであるとの声  
も聞かれるようになり  
ました。この新たな課  
題に当法人として取り  
組むため今後さらに財  
政の安定、地域の他法  
人・福祉関係者との緊  
密な連携、地域ニーズ  
把握のため地域との協  
同等一層の努力をして  
まいります。

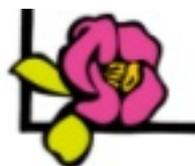
## 迎春

### 目次

- (一) 新年の挨拶 市原理事長
- (二) ～ (三) 新年の挨拶  
常務理事・理事・監事
- (四) 新年の抱負  
未年の皆様より
- (五) ボランティア紹介  
中延SC、給食関係  
八潮南特別養護老人ホーム
- (六) 豆知識  
紅葉まつりを終えて  
ボランティアの集い



かもめ園(身体) 雷門へ日帰り旅行より





たかくら としかず  
鷹倉 俊和  
常務理事

明けましておめでとうござ  
います。今年は無(ひつじ)  
年です。平穏という言葉がイ  
メージされますが、利用者の  
方々が一年間安心して穏やか  
に過ごされることをまず祈念  
したいと思います。

さて、昨年はテレビ小説  
「花子とアン」が人気でした。  
小説「赤毛のアン」の中で、  
次のような一節があります。  
「道の曲がり角の向こうに何  
があるか分からないけれど、  
最高のものがあるって信じる  
ことにするわ。」

社会福祉法人の先行きにつ  
いては不透明なところもあり  
ますが、勇気をもって一步一  
歩着実に前進する所存です。  
今年も関係者の皆様のご支  
援をよろしくお願い致します。



しまざき たえこ  
島崎 妙子 理事

謹んで新年のお慶びを申し  
上げます  
職員の皆様はじめ利用者、ご  
家族の皆様方にはつつがなく  
新年をお迎えのことと存じま  
す。

品川総合福祉センターの利  
用者も三十年の年月が経ち、  
障害の程度も二重障害から歩  
行も困難な方が随分と多くな  
られ、支援して下さる職員の  
大変さをつくづく感じるよう  
になりました。それに加え、  
施設利用を希望する方が多く、  
遠い施設にお願いする事を考  
えますと、私どももまだまだ  
頑張らなければと思います。  
本年もどうぞご健康に留意  
され、明るい年でありますよ  
うお祈り申し上げます。



たはら まさよし  
田原 政義 理事

新年、あけましておめでと  
うございます。  
法人職員の皆様、利用者並  
びに御家族の皆様方には、良  
き年をお迎えになった事と存  
じます。

昨年は各地で集中豪雨によ  
る土砂災害、又、戦後最悪と  
も言える御獄山の火山噴火等、  
天災が相次ぎ数多くの被害が  
出る大変な年でした。  
被災された皆様には、心よ  
りお見舞い申し上げます。こ  
のような出来事が二度と起き  
ない様、祈りたいものです。  
今年も皆様方にとりまして、  
幸多き年になりますよう心よ  
り祈念致しまして新年のご挨拶  
と致します。





すずき としお  
鈴木 敏夫 理事

新年明けましておめでとうございます。皆様には素晴らしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。  
品川総合福祉センター「地域における福祉の発展・充実」を使命とし、重点課題として、利用者サービスの質的向上を目指しています。これは、職員の皆様の資質向上に依拠することとなり。益々のご尽力にご期待申し上げます。  
さて、二〇二〇年には、オリンピック・パラリンピックが、東京で開催されることになりました。今から心がわくわくしてはいますが、利用者の皆様にとつても、夢と希望をもつ機会が増えればと願っています。



かとう ひさあき  
加藤 久明 理事

新年のお慶びを申し上げます。昨年中も計画していた事業を予定通り実施できました。その中でも研修委員会は今後の当法人を担う人材の育成を精力的に進めるべく、六年ぶりに研修内容の他、職員教育全般の課題抽出を行い、その課題を解決する改定を委員会の中で検討してきました。働きながら自分を磨き、キャリアアップを進められる研修体系や自己実現が実感できる組織活動を目指します。社会全体が人材不足の状況下においても、良い人材を採用、育成し続けられる法人を目指していきます。  
本年も何卒よろしくお願いたします。



やました たかし  
山下 隆 監事

明けましておめでとうございます。未年の新年が皆様方にとりまして良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。社会福祉法人品川総合福祉センターは、社会の中で、地域環境の福祉連携・対応と事業活動の安定化に基き、又、各施設の利用者と職員の理解と協調を頂きながら、発展的経営を行っております。  
最近の障害者及び高齢者層等の増加傾向に伴い、多様な福祉課題の山積する社会福祉事業に従事する当センター職員の業務は、社会的な役割から見て重要な意義を持ち、深く感謝致します。  
本年もよろしくお願いたします。



かつの たかみ  
勝野 巽 監事

謹賀新年 昨年、私はサービス評価の仕事で区外の知的障害者通所施設を訪れ、大勢のご利用者との個別面接させていただきました。利用者のお話は、家族、友達、職員、作業、生きることなどへの強い思いがひしひしと伝わってきて胸が熱くなりました。知的障害者の方と個別に長話をしたのは三十年ぶりでしたが、ご利用者の思いに触れることの大切さなど多くのことを学びました。本年も、品川総合福祉センターでは、利用者の心に寄り添う質の高いケアを推進していかれるものと確信しています。利用者、役員、職員、関係者の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成27年



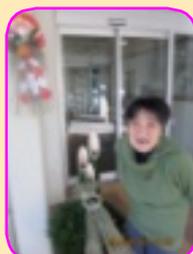
未年の皆様です



羽下 さだ子様



新井 國三郎様



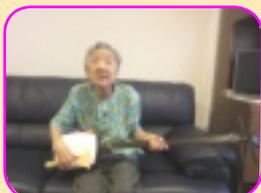
大鰐 よしゑ様



門永 えり様



野呂瀬 麗子様



鈴木 里律子様



法貴 秀子様



新井 清司様



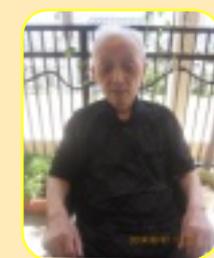
竹田 郁子様



朝島 八千代様



長谷川 千恵子様



鷺巣 富美也様



青沼 安廣様



根本 富貴子様



鯨沢 ハナ様



村杉 美恵子様

(社福) 品川総合福祉センターでお住まいの皆様のご紹介です。



### ボランティア紹介

## 中延在宅サービスセンター



中延在宅サービスセンターには、月曜日から土曜日まで毎日、三〇〜四〇名のご利用者が通って来られます。入浴・食事等の介護サービスに加え、体操や趣味活動を通して、お一人おひとりが充実した一日を過ごしていただけるよう努めています。そしてその充実した一日を大きく支えて下さっているのが、ボランティアの皆さんです。



プロ顔負けの技で入浴後は一段と美人

現在は、昼食配膳や片付け、入浴後のケア、配食、レクリエーション、ヨガ体操、サークルなどのために、毎月延べ百名近くの方がボランティア活動に訪れて下さいます。ドライヤーを片手に入浴が終わった利用者の髪を慣れた手付きで乾かしつつ、温かい言葉をかけて下さる方。昼食時にテーブルを回って優しい笑顔でお茶を注いで下さる方。雨が強い日もレインコートを着て、お弁当を配りに行つて下さる方。折り紙や書道、体を動かすことの楽しさを教えて下さる方。ボランティアの皆さんに支えられている活動は枚挙にいとまがありません。これからも、ボランティアの皆さんのお力添えをいただき、地域の『くつろぎ処』として、事業所の役割を果たして参りたいと思っております。

### しなふくの給食

## 「彩・楽・健」

### 八潮南特別養護老人ホーム

八潮南特別養護老人ホームでは、普段の食事を大事に、季節の食材や献立を取り入れながら日々食事を提供しています。三、四階のユニットでは、ご飯と汁物をフロアのキッチンで調理しています。中には職員と一緒に米とぎを行なう利用者もおられ、炊きあがったご飯の香りが漂う中、配膳の準備をし、食事を提供しています。自宅にいる時のように、「食べたい時に食べたい物を」に近づくように、希望のメニューを伺い出来る限りに



フロアーキッチンで調理中

献立に組み込みます。また、メインのおかずを選んで

「選択食」も行なっています。個人の嗜好や食べられる量、嚥下機能の状態などに合わせて柔軟な対応をし、口から食べる事が継続できるように日々努めています。また、にぎり寿司を通常の献立として組み入れ、ほぼ毎月提供しています。とても喜ばれ、普段自分で召し上がらない方も手をのばし、ご自身の力で召し上がっています。最近では、見た目から何を食べているかわかるように、ソフト食を少しずつ導入しています。まだ始めたばかりではありますが、見すが、見た目や味も好評で今後さらに進めていきたいと考えています。



さばの味噌煮 (右はソフト食)

おみくじ

「初詣、今年の運勢は？」と、おみくじを引いたはいいいもの、縁起の良いし悪しの順番や引いたおみくじの取り扱いで迷ったことはありませんか？縁起の順番は、神社によって吉凶の割合が異なり、一般的には、七段階から十二段階ぐらいに分けられているところが多いようです。縁起の良い順番は、大吉・中吉・小吉・吉・半吉・末吉・末小吉・凶・小凶・半凶・末凶・大凶の順です。大吉や大凶が出ると、陰陽道的には、その反対の運勢になりやすとも言われます。いずれにしても、おみくじに書かれている内容に目を向けることが大切です。隅々までよく読んでください。

「おみくじは持ち帰るもの？ 結んで帰るもの？」

豆知識

その場で結んでしまいがちですが、その場で結ぶのは凶をとどめて吉に転じるようにお願いする場合のみです。凶であっても自分への戒めとして持ち帰っても良いようです。「おみくじをどこに結びつけたらいいの？」

おみくじをむやみに捨ててはいけません。おみくじは、神や仏と縁を「結ぶ」ため、時が経ったら境内に結んでください。必ずしも、おみくじを引いた神社でなくても良いそうです。また、「凶のおみくじを利き腕と反対の手で結べば、困難な行いを達成することによって凶が吉に転じる」という説もあります。おみくじを木々の枝に結ぶのは、木々のみなぎる生命力にあやかり、願い事がしつかり結ばれますように：と祈りが込められているそうです。



お知らせ

ボランティアのつどい

平成二十七年  
三月七日(土)  
午前十一時から  
午後一時半

「ボランティアのつどい」は、ボランティアの皆様と利用者との職員の交流の場として、毎年三月に開催しています。

パン工房プチレーブが心を込めてお届けするオーダブル料理もお馴染みになりました。ボランティアの皆様を支えられ、さらに信頼される社会福祉法人を目指してまいります。



プチレーブの焼きたてパンが大人気  
昨年度の交流会の様子

こうよう 紅葉まつり だて報告

若かえった！「しなふく」ハロウィンブームにあやかり、にぎやかで楽しいお祭りになりました。来年も盛り上げていきます。



あ・と・が・き  
新年あけましておめでと  
うございます。  
まだまだ寒い日が続きます  
が、身体の調子はいかがで  
しょうか？なるべく体を冷  
やさないうちに温かい物を  
食べて、適度な運動を心が  
けましょう。

杉本